

## 26日 木曜

### I サムエル

2:22 さて、エリはたいへん年をとっていたが、息子たちがイスラエル全体に行っていることの一部始終を、それに彼らが会見の天幕の入り口で仕えている女たちと寝ていることを聞いていた。

2:23 それでエリは彼らに言った。「なぜ、おまえたちはそんなことをするのか。私はこの民の皆から、おまえたちのした悪いことについて聞いているのだ。」

2:24 息子たちよ、そういうことをしてはいけない。私は【主】の民が言いふらしているうわさを聞くが、それは良いものではない。

2:25 人が人に対して罪を犯すなら、神がその仲裁をしてくださる。だが、【主】に対して人が罪を犯すなら、だれがその人のために仲裁に立つだろうか。」しかし、彼らは父の言うことを聞こうとしなかった。彼らを殺すことが【主】のみこころだったからである。

2:26 一方、少年サムエルは、【主】にも人にもいつくしまれ、ますます成長した。

2:27 神の人がエリのところに来て、彼に言った。「【主】はこう言われる。あなたの父の家がエジプトでファラオの家に属していたとき、わたしは彼らに自分を明らかに現したではないか。」

2:28 わたしは、イスラエルの全部族からその家を選んでわたしの祭司とし、わたしの祭壇に上って香をたき、わたしの前でエポデを着るようにした。こうして、イスラエルの子らの食物のささげ物をすべて、あなたの父の家に与えた。

2:29 なぜあなたがたは、わたしが命じたわたしへのいけにえ、わたしへのささげ物を、わ

たしの住まいで足蹴にするのか。なぜあなたは、わたしよりも自分の息子たちを重んじて、わたしの民イスラエルのすべてのささげ物のうちの、最上の部分で自分たちを肥やそうとするのか。

2:30 それゆえ——イスラエルの神、【主】のことば——あなたの家と、あなたの父の家は、永遠にわたしの前に歩むとわたしは確かに言ったものの、今や——【主】のことば——それは絶対にあり得ない。わたしを重んじる者をわたしは重んじ、わたしを蔑む者は軽んじられるからだ。

2:31 見よ、その時代が来る。そのとき、わたしはあなたの腕と、あなたの父の家の腕を切り落とす。あなたの家には年長者がいなくなる。

2:32 イスラエルが幸せにされるどんなときにも、あなたはわたしの住まいの衰退を見ようになる。あなたの家には、いつまでも、年長者がいない。

2:33 わたしは、あなたのために、わたしの祭壇から一人の人を断ち切らないでおく。そのことはあなたの目を衰えさせ、あなたのためしいをやつれさせる。あなたの家に生まれてくる者はみな、人の手によって死ぬ。

2:34 あなたの二人の息子、ホフニとピネハスの身に降りかかることが、あなたへのしるしである。二人とも同じ日に死ぬ。

2:35 わたしは、わたしの心と思いの中で事を行う忠実な祭司を、わたしのために起こし、彼のために確かな家を建てよう。彼は、わたしに油注がれた者の前をいつまでも歩む。

2:36 あなたの家の生き残った者はみな、銀



貨一枚とパン一つを求めて彼のところに来てひれ伏し、『どうか、祭司の務めの一つでも私にあてがって、パンを一切れ食べさせてください』と言う。」

主が「わたしよりも自分の息子たちを重んじて」と言われるように、エリは子ども可愛さのあまり、主を愛して従うようにという、神中心の子育てをしませんでした。それがイスラエル共同体の不幸と、家の不幸を招くこととなつたのです。

他方サムエルは主にささげられた子であり、主を第一とする親によって育てられました。子育てにおいても、主を第一にすることが、本当の意味で子を愛することなのです。それは全ての人間関係に言えることでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

